

人文社会科学部後援会事業実施報告書

- ・申請者 富江直子
- ・事業 No. 1－19
- ・参加学生 3年生8名（うち支出2名）

報告項目：2024年度社会調査演習Ⅳ実地調査（3 教員で担当する授業。うち富江担当班の学生分についての報告）

活動目的と活動内容：

この班は、歴史社会学の視点から「満洲移民」の記憶と語りを学びました。豊富な先行研究およびさまざまな資料から、「満洲移民」を経験した人びとの体験を知り、記憶として現在も生きられている過去を知ることが調査の目標としました。調査においては、文書資料と資料館や地域に保存されているさまざまな資料を通じて、人びとの体験や記憶を内在的に明らかにすることをめざしました。

班全体の学習として、「満洲移民」の歴史と記憶に関する先行研究と、満蒙開拓を語りつぐ会編『下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集』の語りを読み込みました。また、語りを分析する方法として、山浦晴男先生の「質的統合法」を学びました。

学生各自が行う調査としては、6名は満蒙開拓を語りつぐ会編『下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集』における語りを分析しました。他の2名は、水戸市にある内原郷土史義勇軍資料館を中心に、「満洲移民」に関する資料・遺構の見学とインタビューを実施しました。

このたびは、この2名の学生による水戸市内での見学・インタビューのための交通費をご支援いただきました。

【写真】日輪兵舎（右上）・忠魂碑（左上）・満蒙開拓殉職者之碑（下）

